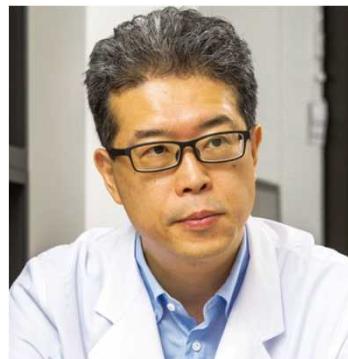


## ウイルスベクターを利用して、効果的なワクチンを！

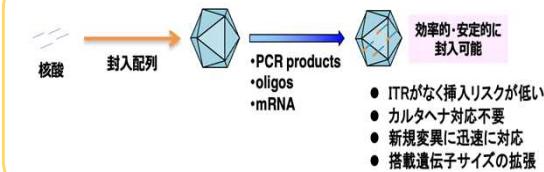
### 自己紹介



### どんな研究ですか？

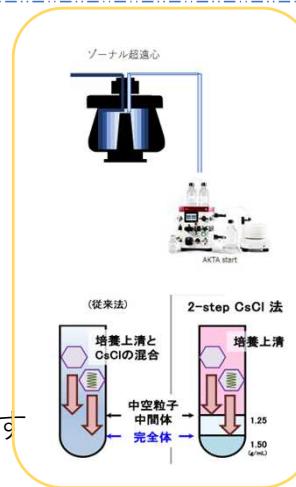
- ベクソーム（※1）の効率的な作製方法の樹立によるワクチン効果の改善を目指しています。
- 感染症の新規ウイルス変異株への迅速な対応を目指した中空粒子（※2）の活用です
- 緊急時に備えた製造施設のデュアルユースです

※1 細胞外小胞に封入あるいは結合したウイルスベクター  
 ※2 発現力セット封入が可能なウイルスカプシド(DDS)



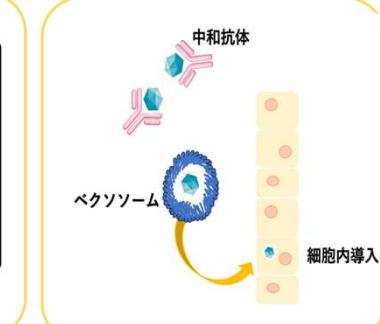
### どんな新しい技術ですか？

- ウイルスベクターと細胞外小胞を活用した新しいワクチンです
- 塩化セシウム密度勾配超遠心を用いた短時間で高純度のウイルスベクターの大量精製ができます
- 常温で長期間保存可能な凍結乾燥法です



### どんなことが解決できますか？

- 研究開発の達成目標**  
安全性と有効性を兼ね備えた製造技術の確立と研究開発体制の構築による”迅速なワクチンの開発”を達成目標としています。
- 期待される成果**  
細胞外小胞への封入によって、ウイルスベクターに対する中和抗体による攻撃の回避および効果の改善による”ワクチン投与の低用量化・反復投与”が期待できます。



# AAV（アデノ随伴ウイルス）を活用した次世代型サブユニットワクチンの研究開発

(提案者：東京大学 岡田 尚巳)

## 基本情報

対象病原体	SARS-CoV-2
モダリティ	AAVウイルスベクター・エクソソーム
投与経路	筋肉内投与
研究開始時期	2022年12月
開発企業 (アカデミア) 連携の有無	有